

## 1945年10月～1952年11月の間に起きた朝鮮進駐軍の集団犯罪リスト

下記のリストには、終戦の1945年(昭和20年)8月～10月までの朝鮮進駐軍による集団犯罪については、データが確認できませんでしたので、このリストには掲載されていません。

また、このリストに掲載されている事件は「集団による犯罪(十人以上)」であり、「個人・少人数による犯罪」は『直江津駅リンチ殺人事件』以外は掲載されていません。

朝鮮進駐軍の犯罪は、GHQの記録(約4千人の日本人が殺害された)が正しければ、犠牲者数を比較した場合に、このリストの集団犯罪の方が明らかに少ないため、少人数グループでの犯罪の方が遥かに凄惨であったと推察されます。これは集団の方が目立つためにGHQや日本の警察・公安が対処しやすかったが、少人数の愚連隊だと突発的なので対処が難しかった為だと考えられます。

リストに掲載されている順番は、事件発生日の古い順です。日付、事件名の後に記されている( )内の人数は、事件での(犯行者数と逮捕・検挙者数)です。なお、これらの人数は、おおよその数ですので、参考までに留めておいてください。

1945年(昭和20年)10月22日 大阿仁村事件(約50人／不明)

1945年12月24日～1946年1月9日 生田警察署襲撃事件(約90人／3人以上)

1945年12月29日 直江津駅リンチ殺人事件(3人／無し)

1946年(昭和21年)1月3日 富坂警察署襲撃事件(約80人／無し)

1946年1月24日 七條警察署襲撃事件(約700人／不明)

1946年5月13日 長崎警察署襲撃事件(約200人／60人)

1946年8月5日 富山駅前派出所襲撃事件(約30人／不明)

1946年9月22日 坂町事件(約70人／12人)

1946年9月26日～29日 新潟日報社襲撃事件(16人／9人)

1946年12月20日 首相官邸デモ事件(約2000人／10人以上)

--10--

1947年(昭和22年)9月10日 津別事件(約50人／不明)

1947年10月20日 尾花沢派出所襲撃事件(37人／29人)

1948年(昭和23年)4月4日～5日 浜松事件(不明／17人)

1948年4月23日～25日 阪神教育事件(第一神戸事件)(約7000人／約1800人)

1948年10月11日～12日 評定河原事件(不明／6人)

1948年12月9日 宇部事件(約200人／不明)

1949年(昭和24年)1月25日 益田事件(約300人／57人)

1949年4月6日～13日 枝川事件(約40人／10人)

1949年4月7日～11日 高田ドブクロク事件(約900人／12人)

1949年6月2日～11日 本郷村事件(約270人／不明)

--20--

1949年6月30日 平事件(不明／数231人)

1949年7月14日～15日 塩釜事件(不明／4人)

1949年8月20日 下関事件(200人以上／208人)

1949年9月13日 ワ号事件(約60人／約40人)

1949年9月13日、12月1日 関東朝鮮人強盗団事件(200人以上／260人)

1949年9月20日 武生事件(不明／2人)

1950年(昭和25年)3月20日 台東会館事件(約400人／119人)

1950年8月15日 連島町事件(約700人／8人)

1950年11月20日～27日 長田区役所襲撃事件(第二神戸事件)(約1200人／235人)

1950年12月1日 大津地方検察庁襲撃事件(約100人／43人)

--30--

1951年(昭和26年)1月23日 四日市事件(約20人／15人)  
1951年3月7日 王子朝鮮人学校事件(約1700人／8人)  
1951年3月21日 浅草米兵暴行事件(約100人／67人)  
1951年6月13日 神奈川事件(約500人／28人)  
1951年10月22日 下里村役場集団恐喝事件(約200人／15人)  
1951年11月21日 福岡事件(約1500人／21人)  
1951年12月1日 東成警察署襲撃事件(約30人／3人)  
1951年12月3日～11日 半田・一宮事件(約320人／27人)  
1951年12月16日 親子爆弾事件(約110人／不明)  
1951年12月18日 日野事件(約50人／20人以上)

--40--

1952年(昭和27年)2月21日～23日 木造地区警察署襲撃事件(約70人／2人)  
1952年2月28日 姫路事件(約70人／21人)  
1952年3月1日 八坂神社事件(約70人／6人)  
1952年3月13日 宇治事件(約15人／6人)  
1952年3月26日～30日 多奈川町事件(約500人／27人)  
1952年4月19日 田川事件(不明／不明)  
1952年4月24日～5月30日 岡山事件(約1000人／16人)  
1952年5月1日 血のメーデー事件(約5000人／1232人)  
1952年5月8日 上郡事件(不明／8人)  
1952年5月12～25日、11月9～12日 大村収容所事件(約700人／24人)

--50--

1952年5月13日 広島地裁事件(約200人／不明)  
1952年5月25日 桜井町事件(不明／2人)  
1952年5月26日 高田派出所襲撃事件(数十人／31人)  
1952年5月30日 大梶南事件(70人／20人)  
1952年5月31日 奈良警察官宅襲撃事件(10人／不明)  
1952年5月31日～6月5日 万来町事件(約500人／不明)  
1952年6月10日 島津三条工場事件(約150人／不明)  
1952年6月13日 醒井村事件(不明／48人)  
1952年6月24日 葺合・長田事件(約300人／13人)  
1952年6月24日～25日 吹田・枚方事件(1109人／300人)

--60--

1952年6月24日～25日 新宿駅事件(約3000人／不明)  
1952年7月7日 大須事件(約1000人／269人)  
1952年7月8日 舞鶴事件(約200人／20人)  
1952年7月12日 相馬ヶ原駐屯地事件(15人／15人)  
1952年11月19日～26日 五所川原税務署襲撃事件(約60人／不明)  
1953年(昭和28年)2月19日～24日 別府市警察署事件(約300人／不明)

上記の事件の「延べ犯行者数」は三万人以上。「延べ逮捕・検挙数」は四千六百人以上です。